

本日ここに函館産業会館落成式典ならびに本所創立七十周年記念式典は七月十五日午前十時から拓銀ビル八階ホールで開催、出村会長の式辞に続いて、飯田(右)両委員長から建設工事経過と募金経過が報告されましたあと感謝状の贈呈、経済功労者、永年勤続職員、役員らの表彰が行なわれ、町村道知事、矢野市長、足立日商會頭、正午から祝賀パーティーにうつったが道内外からの参列者は三百人を数え盛況を極めました。

函館産業会館落成  
本所創立七十周年

ご協力に深謝

使命の重大を痛感

初め地元経済界は、この落成式典に際して、各官公庁の理解と協力を仰ぎ、和四十年八月着工以来、工事の進展に努め、本日落成式典を挙げる運びとなりました。この喜びを述べたいと存じます。函館産業会館の建設は、当商工会議所は、かねてより函館経済界の発展に努め、北道拓殖銀行を

会頭式辞

喜三郎翁のもとに正式に落成式を挙げ、昨年七月で丁度七十周年の記念すべき年を迎えましたが、産業会館の竣工が一年後に予定されたの事情を考慮し、記念式典を一年延期して本年産業会館落成式典と併せて行なうことに決定いたしました次第であります。

記念式典挙ぐ

旧会館の呼称  
旧函館商工会議所の建物  
の名称は、函館商工会議所  
別館と決まりました。な  
お別館の電話番号は22-  
8915です。

責務遂行を祈念

祝道知事

本日の函館商工会議所創立七十周年記念式典および産業会館落成記念式典が、開業されるに当たり一言お祝いを申し上げます。わが北海道も明年は開道百年を迎えるに当り各産業文化の発展は目ざましいものと存じます。

三大開港場の一つとして開港されて以来貿易港として本道産業経済の発展に大きく貢献していることは、すでに皆様ご承知のことです。また函館商工会議所は明治二十九年に創立されて以来函館市の経済界はもとより従来道南の開拓あるいは各種産業の発展の使命を十二分に果たして参

り、ここに創立七十周年を迎え記念式典を挙げるにいたり、誠にありがとうございました。これは歴代役員諸氏の不断の努力の賜と衷心より敬意を表するものであります。

昭和41年度函館商工会議所収支決算書

総括 (一般会計・特別会計) (自昭和41年4月1日  
至昭和42年3月31日)

| 科 目     | 総括<br>41年度予算額 | 総括<br>41年度予算額 | 比<br>増 減 (△) | 41 年 度 決 算 額 内 訳 |           |           |           |
|---------|---------------|---------------|--------------|------------------|-----------|-----------|-----------|
|         |               |               |              | 一般会計             | 法定台帖      | 商工技術      | 相 談 所     |
| 会 費     | 10,571,000    | 9,775,150     | △ 795,850    | 9,775,150        |           |           |           |
| 特別会費    | 5,865,000     | 5,815,000     | △ 50,000     | 5,815,000        |           |           |           |
| 過年度会費   | 150,000       | 271,000       | 121,000      | 271,000          |           |           |           |
| 負担金     | 840,000       | 910,800       | 70,800       |                  | 910,800   |           |           |
| 過年度負担金  | 0             | 0             |              |                  |           |           |           |
| 補助金     | 6,240,000     | 6,544,350     | 304,350      |                  |           |           | 6,544,350 |
| 検定料     | 2,537,000     | 2,610,190     | 73,190       |                  |           | 2,610,190 |           |
| 使用料、手数料 | 800,000       | 1,701,430     | 901,430      | 1,701,430        |           |           |           |
| 雑収入     | 750,000       | 268,942       | △ 481,058    | 234,647          |           |           |           |
| 前年度繰越   | 5,410,000     | 5,452,228     | 42,228       | 5,452,228        |           |           | 34,295    |
| 計       | 33,163,000    | 33,349,090    | 186,090      | 23,249,455       | 910,800   | 2,610,190 | 6,578,645 |
| 法定台帳振替金 | 1,200,000     | 1,182,500     | △ 17,500     |                  | 1,182,500 |           |           |
| 繰入金     | 2,258,000     | 2,344,004     | 86,004       |                  |           |           | 2,344,004 |
| 果 計     | 36,621,000    | 36,875,594    | 254,594      | 23,249,455       | 2,093,300 | 2,610,190 | 8,922,649 |

支 出 の 部

| 科 目        | 総括<br>42年度予算額 | 総括<br>41年度予算額 | 比<br>増 減 (△) | 42 年 度 決 算 額 内 訳 |           |           |           |
|------------|---------------|---------------|--------------|------------------|-----------|-----------|-----------|
|            |               |               |              | 一般会計             | 法定台帖      | 商工技術      | 相 談 所     |
| 給 与 費      | 15,419,000    | 15,706,450    | 287,450      | 8,863,250        | 1,038,000 | 625,000   | 5,180,200 |
| (1)俸 給     | 10,439,000    | 10,663,800    | 224,800      | 6,126,000        | 670,000   | 416,000   | 3,451,800 |
| (2)諸 手 当   | 1,500,000     | 1,532,250     | 32,250       | 752,250          | 99,000    | 73,000    | 608,000   |
| (3)賞 与     | 3,480,000     | 3,510,400     | 30,400       | 1,985,000        | 269,000   | 136,000   | 1,120,400 |
| 福利厚生費      | 880,000       | 843,437       | △ 6,563      | 514,604          | 51,000    | 36,000    | 241,833   |
| 旅 費        | 782,000       | 745,875       | △ 36,125     | 745,875          |           |           |           |
| 所 費        | 1,492,000     | 1,472,979     | △ 19,021     | 1,472,979        |           |           |           |
| (1)通 信 費   | 485,000       | 419,107       | △ 65,893     | 419,107          |           |           |           |
| (2)消 耗 品 費 | 110,000       | 66,452        | △ 43,548     | 66,452           |           |           |           |
| (3)図 書 費   | 255,000       | 231,155       | △ 23,845     | 231,155          |           |           |           |
| (4)印 刷 費   | 70,000        | 226,990       | 156,990      | 226,990          |           |           |           |
| (5)光 熱 費   | 295,000       | 220,392       | △ 74,608     | 220,392          |           |           |           |
| (6)備 品 費   | 50,000        | 57,900        | 7,900        | 57,900           |           |           |           |
| (7)保 険 料   | 42,000        | 40,918        | △ 1,082      | 40,918           |           |           |           |
| (8)借 地 料   | 105,000       | 109,164       | 4,164        | 109,164          |           |           |           |
| (9)修 繕 費   | 80,000        | 100,901       | 20,901       | 100,901          |           |           |           |
| 会 議 費      | 120,000       | 152,007       | 32,007       | 152,007          |           |           |           |
| 事 業 費      | 9,323,000     | 9,109,645     | △ 213,355    | 3,191,951        | 1,004,300 | 1,949,190 | 2,964,204 |
| 交 際 費      | 470,000       | 502,695       | 32,695       | 502,695          |           |           |           |
| 公 課 金      | 1,100,000     | 1,051,616     | △ 48,384     | 1,051,616        |           |           |           |
| 退職給与積立金    | 1,289,000     | 1,289,000     | 0            | 957,000          |           |           | 332,000   |
| 共済掛金繰入     | 404,000       | 431,640       | 27,640       | 252,648          |           |           | 178,992   |
| 雑 費        | 230,000       | 285,980       | 55,980       | 260,560          |           |           | 25,420    |
| 翌年度繰越      | 1,684,000     | 1,757,766     | 73,766       | 1,757,766        |           |           |           |
| 計          | 33,163,000    | 33,349,090    | 186,090      | 19,722,951       | 2,093,300 | 2,610,190 | 8,922,649 |
| 法定台帳振替金    | 1,200,000     | 1,182,500     | △ 17,500     | 1,182,500        |           |           |           |
| 交 付 金      | 2,258,000     | 2,344,004     | 86,004       | 2,344,004        |           |           |           |
| 果 計        | 36,621,000    | 36,875,594    | 254,594      | 23,249,455       | 2,093,300 | 2,610,190 | 8,922,649 |



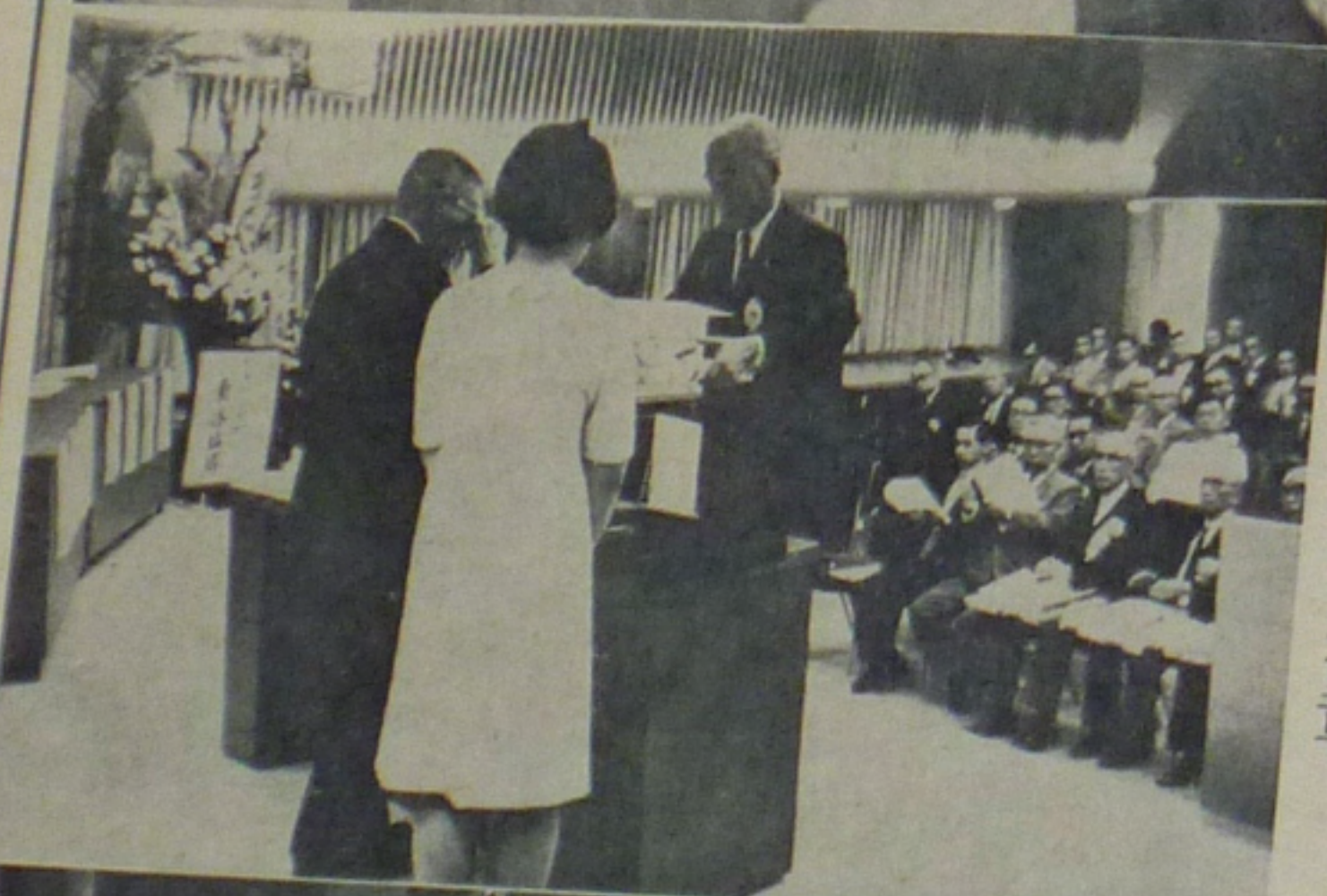
# 館内に溢る喜び



← 産業会館修祓式



← ひな壇の来賓



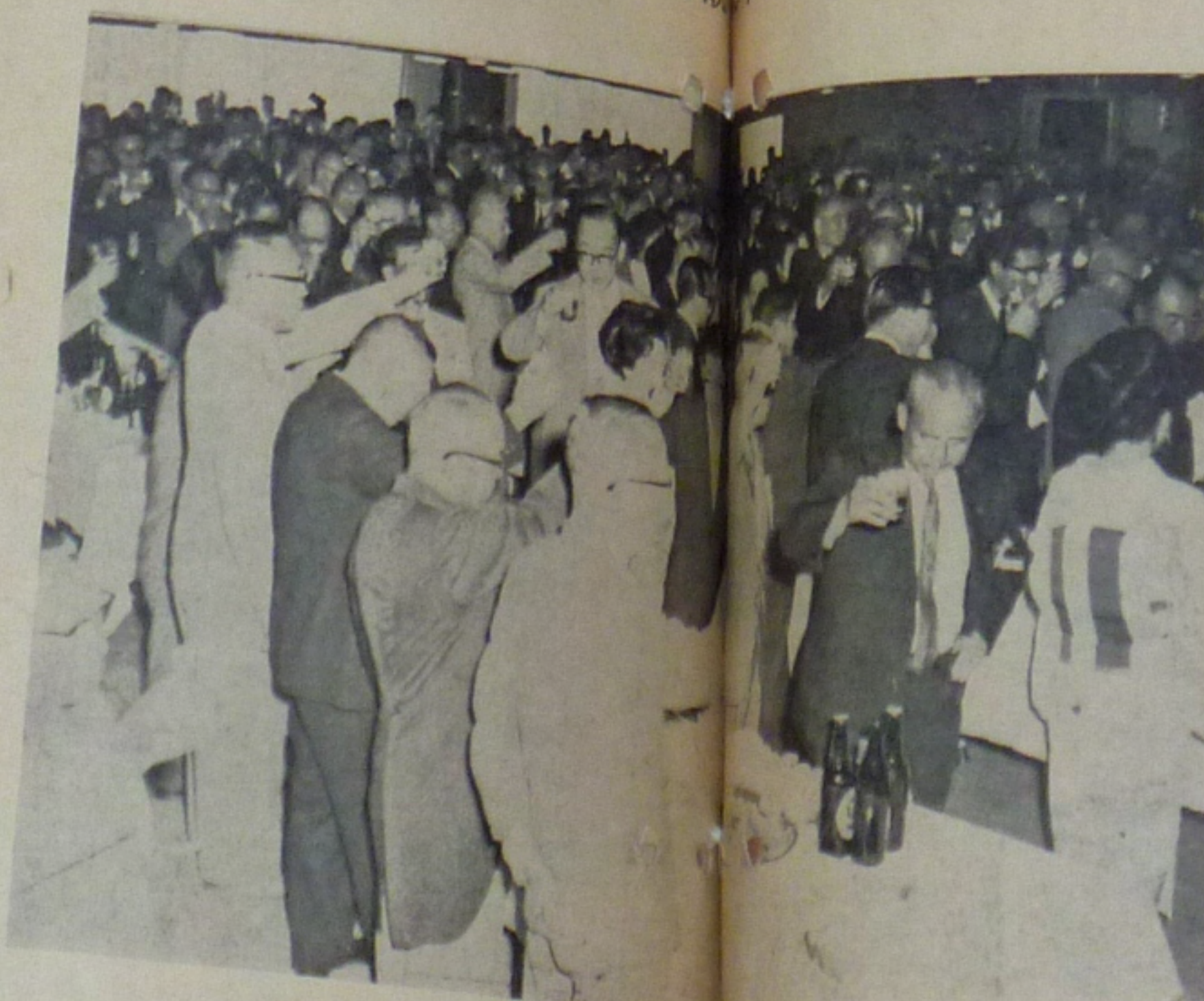
← 勤続議員の表彰



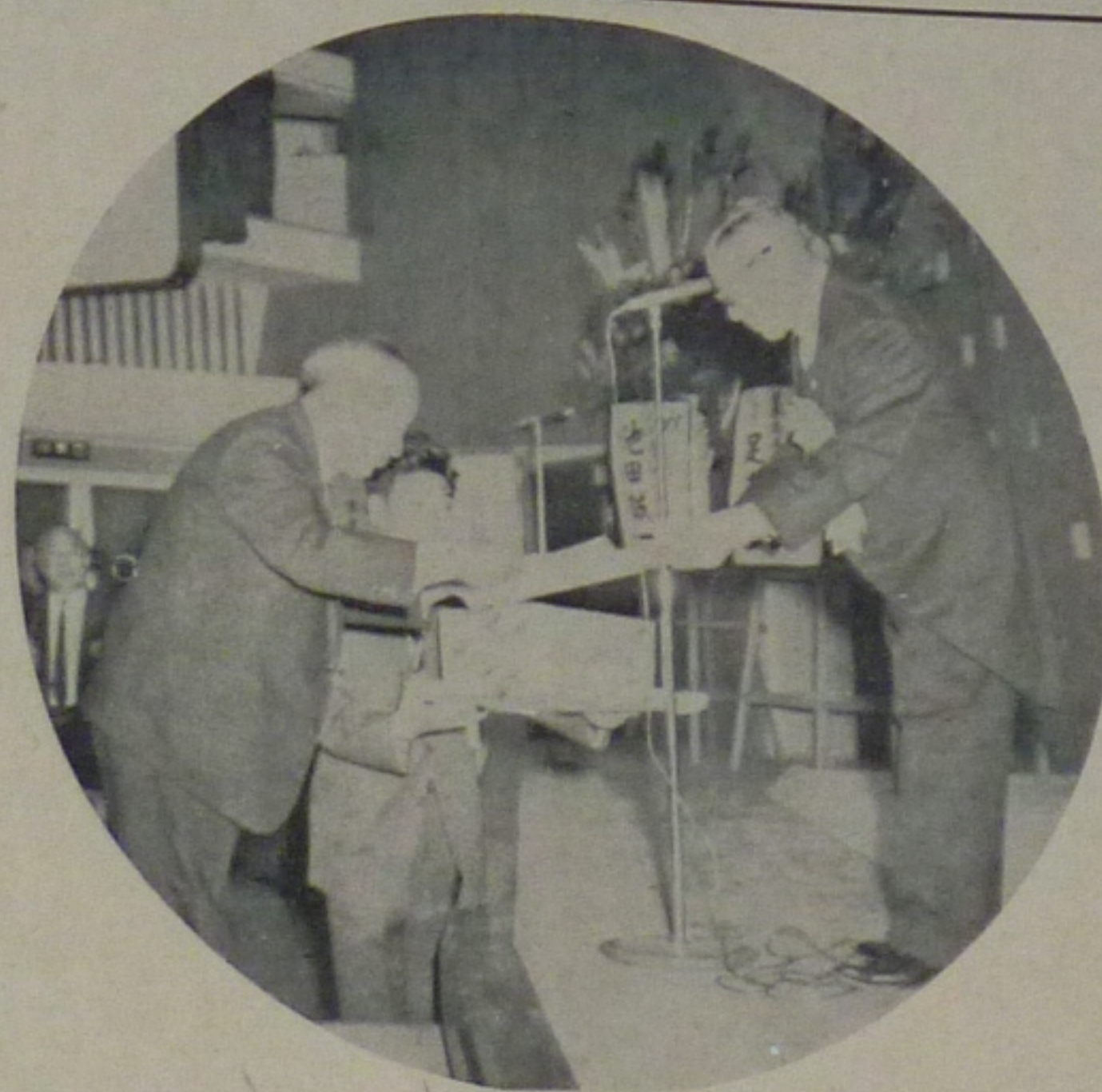
← 物故議員職員の慰霊法要



↑ 式辞を朗読 出村会頭



↑ 参列者の乾杯 (パーティ)



→ 会頭から感謝状贈呈



→ 記念講演会 (上、今日出海氏・下、石田博英氏)



五十四人を表彰

經濟 功勞者と永年勤続者

このたびの記念式典に際し本会議所から表彰された経済功労者、永年勤続議員同常勤役員ならびに勤続職員は次の五十四人である。

◇第2回經濟功勞者

|                     |       |                   |       |
|---------------------|-------|-------------------|-------|
| 合同容器株式会社代表取<br>締役   | 杉崎郡作  | 長店<br>▽6期(18年)以上  | 橋本正治  |
| 北洋塩業株式会社顧問          | 小川弥四郎 | 株式会社棒二森屋代表取<br>締役 | 渡辺熊四郎 |
| 日本化学飼料株式会社代<br>表取締役 | 竹井俊郎  | 株式会社竹田本店代表取<br>締役 | 竹田留治  |
| 永年動議議員              |       | 株式会社出村金物店代表       |       |

取締役 出村喜作  
函館製網船具株式會社代表取締役 宮崎三善  
函館ドック株式會社取締役 函館造船所長 駒井幸一  
株式會社はなびしホテル代表取締役 西村敏雄  
株式會社北海道拓殖銀行取締役 函館支店長 藤河一端  
日魯漁業株式會社函館支社長  
▽5期(15年)以上 菅谷敬三  
三伊藤商事株式會社代表取締役 宮崎善四郎  
株式會社久井今井取締役 函館支店支配人 阿部五郎  
合名會社(三)北村呉服店代表社員 北村実雄  
株式會社小松商店代表取締役 小松重四郎  
日本セメント株式會社上磯工場長 谷口勇  
▽4期(12年)以上  
函館運送株式會社取締役 林源太郎  
會長  
函館第一石炭株式會社代表取締役 浜下改三  
一越毛糸店 荒谷市郎  
合資會社マネキヤ代表社員 松島敎二  
北日本信用販売株式會社代表取締役 伊部政次郎  
倉外山株式會社代表取締役 外山健吉  
キタワラ資材株式會社取

締役会長 酒井唯八  
第一印刷所 板垣雄二  
株式會社國際觀光日乃出  
ホテル代表取締役 鈴木石太郎  
合名會社ほてい屋代表社員 白崎豊治  
金子商事株式會社代表取締役 金子慶三郎  
北海道電力株式會社函館支店長 船山友夫  
株式會社補助屋代表取締役 二木健二郎  
株式會社弘告社代表取締役 外崎泰吾  
▽3期(9年) 以上  
須田商店 須田広之  
北商織物株式會社代表取締役 上谷禎次  
ベンケイ綿株式會社代表

▽10年以上  
専務理事 永田孝一  
理事、事務局長 高間 勉

|        |      |
|--------|------|
| ▽20年以上 | 八杓末吉 |
| 総務課長   |      |
| 會計課長   | 疋田与吉 |
| 総務課職員  | 能登部竹 |
| ▽15年以上 |      |

中小企業相談課長 佐藤一博  
業務課長、調査課長 中島 茂  
総務課長代理

江上英雄  
総務課職員 藤森慶子  
一般会員祝賀会  
産業会館の披露をかね一

産業会館の披露をかね一般会員を招待した祝賀パーティ間七月十五日午後二時から六階ホールで開催されました。パーティには約五百人が参加して開宴、閉会后、館内を見学しました。

物故者慰靈法要

函館商工会議所創立七十周年記念行事の一つとして  
物故議員、職員慰霊法要は  
七月三日午後二時から高竜

寺若松法務所で行なわれ、  
本所議員、職員に関係者約  
五十人が参集、山村会頭の  
追悼文朗読のあと上田大賢  
導師のもと法要が営まれ、  
初代会頭平出喜三郎翁ら二  
百余の諸先輩の足跡をしの  
びその霊を慰めた。

日清製粉株式會社 山内  
 場長 安藤定三  
 北海道パークレット工業株  
 式會社代表取締役  
 井村守治  
 相馬株式會社代表取締役  
 相馬哲平  
 北海道輸出入協同組合理  
 事長 阿部文男  
 〇 永年勤続常勤役員

とされますことは誠に頼もしく衷心より欣快に堪えないところでありまして。

市といたしましてはも今後益々商工会議所との連携を深め産業基盤の整備はもとより本市産業経済振興のため全力を傾注する所存でありますので関係諸機関ならびに業界各位のご支援ご協力を切にお願ひ申しあげるものであります。

終わりにのぞみ本市経済界のご発展と業界各位のご隆昌を衷心からお祈り申しあげ簡単ではありますが祝辭といたします。

昭和四十二年七月十五日  
函館市長 矢野 康

等により本市の経済界をめぐ  
る諸情勢は極めて厳しく  
これらに対処し更に将来の  
飛躍を図るためには徹底し  
た企業の合理化、近代化が  
焦眉の問題となつておるの  
であります。

このような時に函館商工

しかしながら、当市商工会議所は常に本市経済界のリーダーとして産業経済は申すに及ばず、広く社会一般の福祉の増進に尽力されたご功績は誠に大きく改めて深甚なる敬意と謝意を表する次第であります。

連携し經濟振興

矢野函館市長祝辭

さて今日のわが国經濟の會議所の特たれる機能を充分に發揮せる施設のほか各種施設の完備したる商業會館が建設せられ全國の體制のもとに當市の經濟センターとして函館地方広域經濟圈の發展のため広域

本日ここに当市経済界が等しく渴望しておりました函館産業会館が業界各位のご努力と市民皆様のご協力により目出たく完成しその落成式が函館商工会議所創立七十周年記念式典を兼ねて挙行されますことは誠に喜ばしい限りであり、二十五万市民と共に心からお祝い申しあげます。

顧みますれば函館商工会議所は全道各市にさきがけて明治二十九年一月、當時の富岡町会所に函館商業会議所として発足以来七十余年の星霜を閲したものでありますが、この期間わが国にあって激動の歲月であり国内内外を問わず幾多の変遷があつたのであります。

昭和四十二年七月十五日  
函館市長 矢野 康

北海道輸出入協同組合理  
事長 阿部文男  
○永年勸業常勤役員